

## 有馬かおる Kaoru Arima

1969 愛知県生まれ

1990 名古屋造形芸術短期大学プロダクトデザインコース

現在は宮城県を拠点に制作活動をする

### 個展

2023

「FAUST IN MARIENBAD by the Room 0:00:00 in Milano」 コンセプチュアル・ファイン・アーツ (CFA)、ミラノ

2021

「FAUST IN MARIENBAD by Reflections in the flowing water」 エドワード・モンテストゥ、パリ

2020

「RESTONS UNIS: YOU'LL NEVER WALK ALONE」 Saint-Claude spacem、パリ (ペロタンによる企画、エドワード・モンテストゥのレプレゼント)

「FAUST IN MARIENBAD by The quest for Art」 MISAKO & ROSEN、東京

2019

「FAUST IN MARIENBAD by Paris 2019」 エドワード・モンテストゥ、パリ

2018

「To See」 クイア・ソウツ、ニューヨーク

2015

「Face of a human」 MISAKO & ROSEN、東京

2013

「And Then」 QT クイア・ソウツ、シカゴ

2012

「猫の消えた日常。線装する獣」 MISAKO & ROSEN、東京

2010

「Natural Freedom」 ZENSHI、東京

2009

「れんこんのなか」 ZENSHI、東京

2008

「制度の縁側夜曲」 アートドラッグセンター (水戸のキワマリ荘) 水戸、茨城

2007

「うちはうち そとはそと のんじゃった」 アートドラッグセンター (水戸のキワマリ荘) 水戸、茨城

2006

「キワマリ荘の住人 5 - 楽描鬼の引っ越し」 アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

「視覚文学論」 ギャラリー本城、東京

2005

「有馬かおる展」 エクストラスパジオ、ローマ

「有馬かおる展」 ギャラリー・デニス・キマーリッヒ、デュッセルドルフ

2004

「有馬かおる展」 ギャラリーセラー、名古屋

「有馬かおる展」 ギャラリー本城、東京

2003

「有馬かおる展」 ワタリウム美術館、東京

2001

「鑑賞と忍美。」 アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

2000

「冒険からもちかえたもの」 複眼ギャラリー、大阪

1999

「信じること探すこと」 アート ドラッグ センター (キワマリ荘) 犬山、愛知

1998

「ART DRACULA」 アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

1996

「キワマリ荘の住人 4 - 奇妙な生活」 ウエストベスギャラリー コズカ、名古屋

「神の生活」 アート ドラッグ センター (キワマリ荘)、犬山、愛知

1995

「キワマリ荘の住人 3 - 継続の日常」 ウエストベスギャラリー コズカ、名古屋

1994

「キワマリ荘の住人 2 - ネオギガ」 ウエストベスギャラリー、名古屋

1993

「キワマリ荘の住人 - アイツがやって来た」 ウエストベスギャラリー、名古屋

### グループ展

2024

「月へ行く 30 の方法」 恵比寿映像祭 2024 東京都写真美術館、東京

**2022**

「Reborn-Art Festival 2021-2022」〔後期〕、宮城県石巻市街地  
「手つかずの庭 2022」ART DRUG CENTER、宮城  
「拠点から一有馬かおる（キワマリ荘）と設楽陸（タネリスタジオ）」名古屋造形大学 ギャラリー、愛知

**2021**

「手つかずの庭」ART DRUG CENTER、宮城

**2020**

「Cool Invitations 7」XYZ collective、東京  
「CADAN Showcase03 | あなたの「顔」が見たかった」CADAN 有楽町、東京  
「顔」小山登美夫ギャラリー、東京

**2019**

「Kaoru Arima, Sitara Abuzar, Ghaznawi Ozgur Kar」エドワード・モンテストウ、パリ  
「Reborn-Art Festival 2019」宮城  
「アイチアートクロニクル 1919 - 2019」愛知県美術館、愛知

**2018**

「ハッピーマインド - ナチュラル・ハイ」、東京

**2017**

「Reborn-Art Festival 2017」、宮城

**2016**

「ニカラグア・ビエンナーレ」Fundocion Oritz Gurdian、ニカラグア

**2015**

「レインボー」QT、ニカラグア  
「I'm sorry please talk more slowly」8/02 CUBE 1,2,3 ヒカリエ渋谷、東京

**2014**

「アイム・ハングリー」ステーキハウス・ドスコイ、東京

**2013**

「ナウ・ジャパン 日本の現代美術」クンストハル KAdE、アメルスフォート、オランダ  
「アートがあればII - 9人のコレクターによる個人コレクションの場合」東京オペラシティーアートギャラリー、東京

**2012**

「冬の旅」シェーン・キャンベルギャラリー、シカゴ  
「September」MISAKO & ROSEN、東京

**2011**

「G-TOKYO × NEW TOKYO CONTEMPORARIES サロン 2011」六本木ヒルズカフェ、東京  
「Addicted to high and lows : リチャード・オードリッチキュレーション」Bortolami, ニューヨーク  
「Happy Mind - my pleasure」MISAKO & ROSEN、東京  
「ファミリーアフェア」XYZ、東京

**2010**

「あいちアートの森」水谷邸、名古屋

**2009**

「有馬かおる+森千裕二人展」オンサンデーズ、東京

**2008**

「カフェ・イン・水戸 2008」水戸芸術館、水戸  
「第7回 光州ビエンナーレ」光州、韓国

**2007**

「夏への扉 マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸、茨城  
「Paper Trail - A Decade of Acquisitions - 」ウォーカー・アート・センター、ミネアポリス  
「シティーネットアジア 2007」ソウル市立美術館、ソウル

**2005**

「With Out Art Drug Or 」アートドラッグセンター（キワマリ荘）犬山、愛知

**2004**

「第54回 カーネギーインターナショナル」カーネギー美術館、ピッツバーグ  
「DESSINS ET DES AUTRES 」GALERIE ANNE DE VILLEPOIX、パリ  
「ブラインドパイロット」ザ・プロポーション、ニューヨーク  
「A Working Hypothesis」北九州市立百三十銀行ギャラリー、福岡

**2002**

「Beautiful art life」アートドラッグセンター、犬山、愛知  
「Kageki Metonymics」ステーブン・スタック・ギャラリー、ニューヨーク 2003  
「How Latitudes Become Forms」ウォーカー・アート・センター、ミネアポリス [サンドレット・レ・レバウベン  
グ・パラルテ財団、トリノ/ヒューストン 現代美術館、ヒューストン/ミューゼ・ルフィノ・タマヨ、メキシコに  
巡回]  
「Kageki Metonymics」リンク・リアル・アート、サンフランシスコ

**2001**

「チャイルド・フィンガーズ」アートドラッグセンター犬山、愛知  
「TRANSIT」ラフォーレ原宿小倉、福岡  
「現代美術 2001 NAGOYA」名古屋市民ギャラリー矢田、名古屋

**2000**

「雀スタイル」 GALLERY CAPTION、岐阜

**1998**

「ART RAPE 1998」アート ドラッグ センター、犬山、愛知

「to the Living Room」ワタリウム美術館、東京

**1997**

「6 Artists」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

「うさぎ小屋研究所」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

**1995**

「鈍牛庵の夜長」岩田洗心館、犬山、愛知

「New Birth」名古屋市民ギャラリー、名古屋

**1994**

「アートウエーブ '94」NHK 名古屋センタービル、名古屋

「ウンプテンプテン 143」カノーヴァン、名古屋

**パブリックコレクション**

愛知県美術館、愛知

カーネギー美術館、ピッツバーグ

ウォーカー・アートセンター、ミネアポリス

カーディス財団、パリ/サンフランシスコ